

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	日本の接客Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	日本の接客Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	3	45
使用教材	—		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、日本で働く社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ		
到達目標	日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを習得する		
評価基準	小テスト：40％ 期末テスト：30％ 出席状況：20％ 授業態度：10％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅲ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	松本 知子	実務経験	○
実務内容	服飾会社の営業職で2年、外資系企業や日系企業、日本語学校にて外国人社員向けのビジネス日本語やビジネスマナー研修講師として15年勤務した実務経験を基に、日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本社会におけるビジネスマナー（社会人常識）の重要性を伝達、生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について
2	実力テスト実施①	現段階での敬語およびビジネスマナーの常識を図るための実力テスト サービスとは何かを考える
3	実力テスト実施②	
4	サービス業と接客マナー①	接客マナーにおいて必要5原則について、導入 サービス業で使用する日常日本語の表現を学ぶ
5	サービス業と接客マナー②	
6	敬語①	敬語とは？グループワークで知っている敬語や普段使っている敬語をまとめる 尊敬語、謙譲語について学ぶ
7	敬語②	
8	敬語③	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと 接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践
9	敬語④	
10	小テスト実施 必要とされる要件	授業で行った内容についての理解度を図るための小テスト 接客と敬語や必要とされる要件について学び、事例研究を実践する
11	対人技能①	職場・来客のコミュニケーションをよくするために、サービス知識を用いた話し方について学ぶ
12	対人技能②	

13	振り返り	前期授業で学んだ敬語およびビジネスマナーの常識についてを振り返り
14	期末テスト	前期末テスト
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	日本の接客Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	日本の接客Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	3	45
使用教材	—		出版社	—	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、日本で働く社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ				
到達目標	日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを習得する				
評価基準	小テスト：40％ 期末テスト：30％ 出席状況：20％ 授業態度：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅲ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松本 知子		実務経験	○	
実務内容	服飾会社の営業職で2年、外資系企業や日系企業、日本語学校にて外国人社員向けのビジネス日本語やビジネスマナー研修講師として15年勤務した実務経験を基に、日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本社会におけるビジネスマナー（社会人常識）の重要性を伝達、生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について			
2	実力テスト実施①	現段階での敬語およびビジネスマナーの常識を図るための聴解の実力テスト サービスとは何かを考える			
3	実力テスト実施②				
4	サービス知識①	サービス知識について学び、事例研究を実践する			
5	サービス知識②				
6	対人技能①	各ビジネス場面で使う日本語表現とマナーについて学ぶ			
7	対人技能②				
8	対人技能③				
9	対人技能① ビジネス事例研究実践	ビジネス場面で必要とされるマナーと事例研究の実践			
10	対人技能② ビジネス事例研究実践				
11	対人技能③ ビジネス事例研究実践				
12	対人技能④ ビジネス事例研究実践				

13	振り返り	前期授業で学んだビジネス場面で必要とされるマナーについてを振り返り
14	期末テスト	前期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	日本の接客Ⅲ		
必修選択	必修	(学則表記)	日本の接客Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	3	45
使用教材	—		出版社	—	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、日本で働く社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ				
到達目標	サービス接客3級に相当するマナー・接客知識、技術を習得する				
評価基準	小テスト：40％　期末テスト：30％　出席状況：20％　授業態度：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松本　知子		実務経験	○	
実務内容	服飾会社の営業職で2年、外資系企業や日系企業、日本語学校にて外国人社員向けのビジネス日本語やビジネスマナー研修講師として15年勤務した実務経験を基に、日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	導入、自己紹介 成績評価・検定	教員の自己紹介、日本社会におけるビジネスマナー（社会人常識）の重要性を伝達、生徒自己紹介、授業の目的、到達目標について			
2	前期の復習 小テスト	接客と敬語、従業員、サービス知識、話し方、服装について 前期で実施した授業内容の習熟度を測るための小テストを実施			
3	実務技能①	問題処理　苦情についての対応に使用する日本語の表現や文法を学ぶ 問題処理の基本4項目に重点を置く			
4	実務技能②	前回授業の復習 在庫切れ、問い合わせについての対応に使用する日本語の表現や文法を学ぶ			
5	実務技能③	前回授業の復習 金銭授受の言葉と動き、領収書の知識について学ぶ			
6	実務技能④	祝儀・不祝儀袋の上書き用語、現金の包み方・ふくさなど、慶事・弔事の服装、葬儀での心得（宗教別）供花・供物について、電報の打ち方、贈答（季節の贈答見舞い）を学ぶ			
7	実務技能⑤				
8	ビジネス文書作成練習①	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践する			
9	ビジネス文書作成練習②	前回は復習し、ビジネス文書、ビジネスメールを書く			
10	小テスト実施	授業で行った内容についての理解度を図るための小テスト			
11	履歴書作成練習①	履歴書とは、履歴書のマナー、履歴書の書き方を学ぶ			
12	履歴書作成練習②	履歴書作成			

13	振り返り	後期授業で学んだ敬語およびビジネスマナーの常識についてを振り返り
14	期末テスト	後期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	日本の接客Ⅳ		
必修選択	必修	(学則表記)	日本の接客Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	3	45
使用教材	—		出版社	—	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、日本で働く社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ				
到達目標	サービス接客3級に相当するマナー・接客知識、技術を習得する				
評価基準	小テスト：40％ 期末テスト：30％ 出席状況：20％ 授業態度：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅲ、就職対策Ⅰ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松本 知子		実務経験	○	
実務内容	服飾会社の営業職で2年、外資系企業や日系企業、日本語学校にて外国人社員向けのビジネス日本語やビジネスマナー研修講師として15年勤務した実務経験を基に、日本社会で働く上での最低限の常識・ルール・マナーを教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	前期の復習 小テスト	接客と敬語、従業員、サービス知識、話し方、服装について 前期で実施した授業内容の習熟度を測るための小テストを実施			
2	理想の美容従事者像	お客様から愛され・親しまれる美容師・エステティシャン・美容部員・ネイリスト・プランナー等とは（個人・グループワーク）について考える			
3	実技演習①「面接練習」	面接試験の種類とチェックポイント（受付、控室でのマナーも含める）について学ぶ 面接ロールプレイング（入室～退室まで 基本動作のみ）			
4	実技演習②「面接練習」				
5	実技演習③「面接練習」	実技演習①・②の復習、面接ロールプレイング（面接内容含む）			
6	実技演習④「面接練習」	面接ロールプレイング（面接内容含む）			
7	口頭試験（小テスト）	面接ロールプレイング（面接内容含む）			
8	実技演習⑤「電話対応」	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践する			
9	実技演習⑥「電話対応」	前回の復習 予約電話のシミュレーション、実習事前訪問のアポイント電話のシミュレーションを実践する			
10	実技演習⑦「来客対応」	日本のビジネス場面から来客時のマナーやビジネス言葉について学ぶ			
11	実技演習⑧「お茶出し」	来客時のお茶出しマナーのシミュレーション			
12	実技演習⑨「まとめ」	電話のかけ方・受け方、アポイント電話～来客対応まで全復習のシミュレーション			

13	振り返り	後期授業で学んだビジネス場面で必要とされるマナーについてを振り返り
14	期末テスト	後期末のテストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	技術理論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	技術理論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	30
使用教材	—		出版社	—	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	・実技授業にて学専門用語・知識の習熟度を高める ・美容に関するセンスを磨き、トレンドについて日本語の表現を学ぶ				
到達目標	・実技授業の成績で高評価を得る ・自ら美的センスを磨いたり、トレンドを研究したりする習慣と表現することができるようになる				
評価基準	小テスト：40％ 期末テスト：30％ プレゼンテーション20％ 出席状況：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアテクニクⅠ/Ⅱ、メイクアップⅠ/Ⅱ、ネイルテクニクⅠ、トータルビューティーⅠ、フェイシャルスキンケアⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	楊 蔚樂		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション・導入	授業の概要・流れ・到達目標について			
2	実技授業の復習・予習①	前週の各実技授業の振り返り・今週の実技授業の予習（専門用語・事前知識の導入）			
3	実技授業の復習・予習②	ネイルテクニクⅠの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認			
4	実技授業の復習・予習③ (小テスト)	ネイルテクニクⅠの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認（小テスト） テストの振り返りを行う			
5	実技授業の復習・予習④	メイクアップⅠの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認			
6	実技授業の復習・予習⑤ (小テスト)	メイクアップⅠの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認（小テスト） テストの振り返りを行う			
7	実技授業の復習・予習⑥ (小テスト)	フェイシャルスキンケアⅠの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認			
8	センスを磨く①	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践			
9	センスを磨く②	カラーコーディネート基本知識② ファッションについて日本語の表現を学び服について説明できるようになる			
10	プレゼンテーション（発表）	雑誌の切り抜きでコラージュを作成し、カラーとファッションについて日本語の表現で発表する			
11	実技授業の復習・予習⑦	ヘアテクニクⅠの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認、テストの振り返りを行う			

12	実技授業の復習・予習⑧ (小テスト)	ヘアテクニックⅠの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認（小テスト） テストの振り返りを行う
13	センスを磨く③	「ヘアスタイル・メイク・ネイル・ファッション」について素材を見つけ、作品の良い点・好きな点について日本語の表現を学ぶ
14	期末テスト	「ヘアスタイル・メイク・ネイル・ファッション」について200字の作文 作品の良い点・好きな点を説明する
15	総合授業	前期授業のまとめを行う（テストの振り返り含む）

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	技術理論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	30
使用教材	—		出版社	—	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	・実技授業にて学専門用語・知識の習熟度を高める ・美容に関するセンスを磨き、トレンドについて日本語の表現を学ぶ				
到達目標	・実技授業の成績で高評価を得る ・自ら美的センスを磨いたり、トレンドを研究したりする習慣と表現することができるようになる				
評価基準	小テスト：40％ 期末テスト：30％ プレゼンテーション20％ 出席状況：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアテクニクⅠ/Ⅱ、メイクアップⅠ/Ⅱ、ネイルテクニクⅡ、トータルビューティーⅡ、フェイシャルスキンケアⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	楊 蔚楽		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション・導入	授業の概要・流れ・到達目標について			
2	実技授業の復習・予習①	前週の各実技授業の振り返り・今週の実技授業の予習（専門用語・事前知識の導入）			
3	実技授業の復習・予習②	メイクアップⅡの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認			
4	実技授業の復習・予習③ (小テスト)	メイクアップⅡの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認（小テスト） テストの振り返りを行う			
5	実技授業の復習・予習④	ネイルテクニクⅡの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認			
6	実技授業の復習・予習⑤ (小テスト)	ネイルテクニクⅡの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認（小テスト） テストの振り返りを行う			
7	実技授業の復習・予習⑥ (小テスト)	ヘアテクニクⅡの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認（小テスト） テストの振り返りを行う			
8	センスを磨く①	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践			
9	センスを磨く②	カラーコーディネート基本知識② ファッションや体型について日本語の表現を学び、服について説明できるようになる			
10	プレゼンテーション（発表）	相手に合わせたコーディネートを提案し、雑誌の切り抜きで作成したコラージュを使い、学んだ日本語の表現で発表する			
11	実技授業の復習・予習⑦	フェイシャルスキンケアⅡの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認			

12	実技授業の復習・予習⑧ (小テスト)	フェイシャルスキンケアⅡの実技授業及び本授業にて学んだことの習熟度の中間確認（小テスト） テストの振り返りを行う
13	センスを磨く③	「ヘアスタイル・メイク・ネイル・ファッションの最新トレンドについて」について素材を見つけ、作品の良い点・好きな点について日本語の表現を学ぶ
14	期末テスト	「ヘアスタイル・メイク・ネイル・ファッションの最新トレンドについて」について発表をし、作品の良い点・好きな点を説明する
15	総合授業	後期授業のまとめを行う（テストの振り返り含む）

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	30
使用教材	ー		出版社	ー	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容業界就職に対しての知識/意識付けを学ぶ				
到達目標	美容業界における自身のなりたい像が描ける				
評価基準	テスト40%、提出物40%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅲ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	楊 蔚樂		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション・導入	授業の概要・流れ・評価基準・到達目標について			
2	スタプロ振り返り①	販連相や挨拶の方法など、社会人として必要のマナーについて復習			
3	スタプロ振り返り②	学園生活でどのように活かしていくかを考える			
4	学園生活での目標設定①	学園生活での目標設定（グループワーク）			
5	学園生活での目標設定②	学園生活での目標設定（グループワーク）			
6	学園生活での目標設定③	学園生活での目標設定（グループ発表）			
7	日本の美容業界研究①	日本の美容業界と希望する職業についての知識を深める			
8	日本の美容業界研究②	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践			
9	日本の美容業界研究③	希望する職業や学科コースの授業見学を行う			
10	目標設定	美容を通して社会に貢献できる人材になるために必要なこと（個人ワーク）			
11	目標設定（テスト）	美容を通して社会に貢献できる人材になるために必要なことについて発表（個人ワーク）			
12	外国人が活躍できる美容の仕事・企業	日本で美容を学んだ後、美容業界で活躍・成功している外国人の実例を紹介 外国人の就労を認めている企業や実例を自ら調べる			

13	外国人が活躍できる美容の仕事・企業	外国人の就労を認めている企業や実例を発表
14	期末テスト	前期の振り返りとして、授業内に設定した学園生活の目標について200字の作文テスト
15	総合授業	前期授業のまとめを行う（テストの振り返り含む）

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	30
使用教材	—		出版社	—	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	身につけた美容業界就職に対しての知識・技術を総集し形にすることで、就職に対する意識を増幅する				
到達目標	美容業界における自身のなりたい像が描けるように、卒業後の進路（2年制課程への進級）が明確になる				
評価基準	テスト40％、提出物40％、授業態度20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	日本の接客Ⅰ、日本の接客Ⅱ、日本の接客Ⅲ、日本の接客Ⅳ、就職対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	楊 蔚楽		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	イントロダクション	授業内容の説明・評価基準の説明			
2	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介とステージアップの流れの説明			
3	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介（美容科）			
4	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介（ヘアメイク科）			
5	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介（トータルビューティー科）			
6	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介（トータルビューティー科）			
7	ビューティーアートについて	1年制課程修了後、進学可能な他学科について紹介（エステティック科）			
8	自己分析・他己分析	二重敬語やアルバイトで使っている敬語について、敬語の知識で間違いやすいものと接客用語を説明、尊敬語、謙譲語の使い分けについて実践			
9	日本の就職活動について	自己PR作成、履歴書の書き方について学ぶ			
10	日本の就職活動について	自己PR作成、履歴書の書き方について学ぶ			
11	日本の就職活動について	面接マナーを学び、模擬面接を行う			
12	日本の就職活動について	面接マナーを学び、模擬面接を行う			

13	目標設定	卒業後の目標を考える（個人ワーク） 卒業後の具体的進路を考える（個人ワーク）
14	人生のビジョン設計	人生のビジョン・具体的なライフプランを考える 1年間を通して自身が成長したと思う点を分析し、今後伸ばしたいと思う点を考える
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	メイクアップⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	メイクアップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	60
使用教材	メイク道具一式		出版社	ー	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	・ スキンケアからフルメイクまでの技術と知識を日本語で実践できる ・ 特殊メイク、キャラクターメイクなどの特化した技術・知識を習得し、メイクの応用力を身につける				
到達目標	・ スキンケアからフルメイクまでの技術理論を理解し人にメイクが出来るようになる ・ ボディアートやペイントのような特化した技術を習得し実践できるようにする				
評価基準	テスト50%、提出物25%、授業態度等25%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	技術理論Ⅰ、技術理論Ⅱ				
備考	週2時間×2日程。原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	内村 美子		実務経験	○	
実務内容	舞台メイクを中心にフリーランスのメイクアップアーティストとして7年勤務をした実務経験を元に、メイク技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション メイクアップ概論	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)、メイクアップ概論			
	オリエンテーション ボディアート①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)ボディアート等の導入			
2	ベースメイク	ベースメイク(手順)			
	ボディアート②	ボディアートの導入（使い方・手順）			
3	ベースメイク	ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)			
	ボディアート③	ボディアートの実践（復習・アート練習）			
4	スキンケア/ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り			
	ボディアート④	ボディアートの実践（アート課題練習）			
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ポイントメイク(アイシャドウ)			
	ボディアート⑤	ボディアートの実践（実技テスト）			

6	ベースメイク/ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク)
	傷メイク①	様々な傷（あざ・火傷含む）のメイクの導入
7	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
	傷メイク②	様々な傷（あざ・火傷含む）のメイクの実践
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイブロウ)
	傷メイク③	様々な傷（あざ・火傷含む）のメイクの実践（実技テスト）
9	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
	ボディジュエリー①	ボディジュエリーの導入（使い方・手順）
10	ポイントメイク	ベースメイクから全てのポイントメイクを行う
	ボディジュエリー②	ボディジュエリーの実践（転写）
11	フルメイク	フルメイクテスト40分、ベーシックテクニックの振り返り
	エアブラシ①	エアブラシの導入（セッティング・使い方）
12	フルメイク	フルメイク(ソフト)
	エアブラシ②	エアブラシの実践（単色）
13	フルメイク	スキンケア(手順)、反復練習
	エアブラシ③	エアブラシの実践（混色）
14	フルメイク	フルメイク(シャープ)
	エアブラシ④	エアブラシの実践（課題プリント）
15	総合授業	まとめを行う
	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	メイクアップⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	メイクアップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	60
使用教材	メイク道具一式			出版社	ー
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エアブラシからボディジュエリー、ブライダル、ショーのシーンや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	ショーメイク・スチール撮影 メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる				
評価基準	実技テスト50%、提出物25%、授業態度等25%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	技術理論Ⅰ、技術理論Ⅱ				
備考	週2時間×2日程。原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	内村 美子			実務経験	○
実務内容	舞台メイクを中心にフリーランスのメイクアップアーティストとして7年勤務をした実務経験を元に、メイク技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション ブライダル概論、基礎知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認<名称、使い方、管理(セッティング)方法>、イメージをつかませるため教員によるデモまたはブライダルの映像鑑賞、コラージュ作成			
2	ブライダルメイク	ドレス別のメイク実習(実践)			
3	ショーメイク①	Wラインの使ったメイク(導入、実践)			
4	ショーメイク②	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)			
5	ショーメイク③	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)			
6	ショーメイク④	テーマに合わせてショーメイク（フルメイク実践）を行う			
7	舞台メイク①	舞台の男役メイクを実践する			
8	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する			
9	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う			
10	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う			

11	トレンドメイク③	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
12	作品制作①	デッサンに合わせたデザインの作品制作と振り返り
13	作品制作②	デッサンに合わせたデザインの作品制作と振り返り
14	作品制作③	デッサンに合わせたデザインの作品制作と振り返りテスト
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ネイルテクニックⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	ネイルテクニックⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	60
使用教材	ネイル道具一式		出版社	ー	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ネイルケア、カラーリングの技術・手順を理解し、実践できる				
到達目標	基本的技術の習得				
評価基準	実技テスト：50％、小テスト：20％、授業態度：20％、宿題：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級				
関連科目	技術理論Ⅰ、ネイルテクニックⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	楊 蔚樂		実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	教材配布（名称及び用途説明）	道具に名前を付けさせる。ウッドスティックの整え方・コットンの巻き方			
	ネイル概論（爪の構造と働き） ファイリング実技（トレーニングハンド）	爪の構造、名称を理解する。トレーニングハンドを使用し、ファイリングの手順、5パターンのカットスタイルの違いを理解する			
2	座学復習 ファイリング実技（トレーニングハンド）	座学復習。チップに5種類のカットスタイルを施す			
	テーブルセッティング ファイリング実技（相モデル）	テーブルセッティングを学ぶ ファイリング、シャイニングを人の手に行う			
3	カラーリングデモ・シート実技 カラーリング実技（相モデル）	シートを使用し、ボトルの持ち方、ポリッシュの量、塗り方を学ぶ（持ち塗り、置き塗り）カラーリングのデモを見せる。オフの仕方学ぶ。			
	カラーリング実技（相モデル）	相モデルでカラーリングを施す			
4	カラーリング実技（相モデル）	相モデルでカラーリングを施す			
	ペイントアート実技（チップ）	アクリル絵の具使用のペイントアートを学ぶ			
5	ペイントアート実技（相モデル）	テーマを決め、相モデルでアート練習			
	ペイントアート実技（相モデル）	テーマを決め、相モデルでアート練習			
6	ケア デモンストレーション ケア実技(自分の手)	ケアのデモンストレーションを見せる。正しい使用方法、手順を学ぶ 自分の手にやってみる			
	ケア実技（相モデル）	相モデルでケアを行う。プッシャー、ニッパーの使用方法の確認。			

7	ケア・カラーリング実技	実技テストを向けてのケア・カラー練習
	カラー・アート実技	実技テストを向けてのカラー・アート練習
8	実技試験（テスト）	ケア～アートまでの技術を時間内に仕上げる
	実技試験（テスト）	ケア～アートまでの技術を時間内に仕上げる
9	ポリッシュアート（相モデル）	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
	ポリッシュアート（相モデル）	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
10	ポリッシュアート（相モデル）	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
	ポリッシュアート（相モデル）	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
11	ポリッシュアート（相モデル）	白やピングなどのマットカラーのカラーリング練習ラメグラデーション・フレンチ・シボレー・マーブル・ウォーターマーブル・トレンドアート・アニマル柄・チェックなど、含んだ流行のアート実技
	ペイントアート実技（チップ）	テーマを決め、アートチップを作成する
12	ペイントアート実技（チップ）	テーマを決め、アートチップを作成する
	ペイントアート実技（相モデル）	テーマを決め、相モデルでアート練習
13	実技試験（テスト）	授業の総復習としてアートを含め実技を行う（ペイントアート＆ポリッシュアート）
	実技試験（テスト）	授業の総復習としてアートを含め実技を行う（ペイントアート＆ポリッシュアート）
14	ケア＆シャイン	ケアを行い、シャイナーの使い方をマスターする
	シールアート（相モデル）	最新のネイルグッズを使い、シールアート・ストーンアートを学ぶ
15	授業内コンテスト	授業の総復習として、アートチップを5枚作成する
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ネイルテクニックⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	ネイルテクニックⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	60
使用教材	ネイル道具一式			出版社	ー
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ネイルの楽しさを知り、ジェルネイル・爪の修復・補強の技術と手順を理解し、実践できる				
到達目標	基本的技術の習得				
評価基準	実技テスト：40％、宿題：30％、小テスト：20％、授業態度：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	技術理論Ⅱ、ネイルテクニックⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	楊 蔚樂			実務経験	
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	導入・教材の名称及び説明 ジェル講義・デモンストレーション	教材説明 ライトで硬化するジェルシステムを学ぶ			
	ジェル講義復習・ジェルカラー実技	座学復習 チップ・自爪にジェルカラーリングをを施す			
2	ジェルカラー実技（相モデル）	相モデルでジェルカラーを施す			
	プレパレーション講義・デモンストレーション	プレパレーションを学ぶ。自爪にプレパレーションを施す			
3	ジェルオフデモンストレーション	相モデルでジェルオフを実習			
	ジェルカラー実技（相モデル）	相モデルでジェルカラー（パール・シアー・ラメカラー）を施す			
4	ジェルカラー実技（相モデル）	相モデルでジェルカラー（パール・シアー・ラメカラー）を施す			
	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ			
5	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ			
	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ			
6	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	グラデーション、チェック、ピーコック、フラワーなど定番なアートを学ぶ			
	実技試験（テスト）	授業の復習としてアートを含め実技を行う（ジェルカラー・アート）			

7	実技試験（テスト）	授業の復習としてアートを含め実技を行う（ジェルカラー・アート）
	ジェルアート（3Dアート） デモンストレーション・実技	ジェルで3Dアートを制作する
8	ジェルアート（3Dアート） デモンストレーション・実技	ジェルで3Dアートを制作する
	ジェルアート（3Dアート） デモンストレーション・実技	ジェルで3Dアートを制作する
9	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
10	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
	アートチップ制作	授業内コンテストを行い、アートチップを制作する
11	ハンドトリートメント講義・デモンストレーション	ハンドトリートメントについて学ぶ
	ハンドトリートメント実技	
	ケア・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントについて学ぶ
12	リベア（シルク、レジン） 講義・デモンストレーション・実習	爪の補修・補強（シルクラップ）およびチップによる長さだしの技術を学ぶ
	シルクラップ（相モデル）	爪の補修・補強（シルクラップ）およびチップによる長さだしの技術を学ぶ
13	実技試験（テスト）	シルクラップの技術を時間内に仕上げる
	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	たらしこみネイル、ミラーネイルなど流行りのアートを学ぶ
14	ジェルアート講義・デモンストレーション・実技	たらしこみネイル、ミラーネイルなど流行りのアートを学ぶ
	ストーンアート（相モデル）	最新のネイルグッズを使い、ジェルでシールアート・ストーンアートを学ぶ
15	ストーンアート（相モデル）	最新のネイルグッズを使い、ジェルでシールアート・ストーンアートを学ぶ
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	フェイシャルスキンケアⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	フェイシャルスキンケアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	1	30
使用教材	クリエンス化粧品・タオル類・消耗品類			出版社	ー
科目の基礎情報②					
授業のねらい	フェイシャルエステティックの流れ・基本の手技を覚える				
到達目標	ホスピタリティーの実践 基本的なフェイシャル技術を提供できるようになる				
評価基準	実技試験2回 出席表の提出				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	齊藤 幸江			実務経験	○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして1 3年の実務経験を基に、基本的なフェイシャル技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業の流れ・到達目標について			
2	接客マナー（相モデル）	挨拶・身嗜み・言葉遣い・基本動作・ベッド誘導			
3	フェイシャルエステティックとは	フェイシャルエステティックの目的と効果、 フェイシャルエステティックの流れ・事前準備			
4	フェイシャルマッサージ	マッサージ導入・デモンストレーション・ご案内-軽擦法-強擦法-揉捻法-HOTタオルふき取り			
5	フェイシャルマッサージ	マッサージ導入・デモンストレーション・ご案内-打法・振動法-圧迫法-軽擦法-HOTタオルふき取り			
6	フェイシャルマッサージ	マッサージ通し練習・ご案内-フェイシャルマッサージ-ふき取り-誘導			
7	フェイシャルマッサージ	マッサージ通し練習・ご案内-フェイシャルマッサージ-ふき取り-誘導			
8	フェイシャル実技試験	成績評価①			
9	フェイシャル機器・バック	吸引導入・デモンストレーション			
10	フェイシャル機器・バック	バック導入・デモンストレーション			
11	フェイシャル機器・バック	吸引・バック練習			
12	フェイシャル機器・バック	吸引・バック練習			

13	フェイシャル実技試験	成績評価②
14	フェイシャル総合	吸引・マッサージ・パック通し練習
15	フェイシャル総合	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	フェイシャルスキンケアⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	フェイシャルスキンケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	1	30
使用教材	クリエンス化粧品・タオル類・消耗品類		出版社	ー	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、基本的なフェイシャルトリートメントを理解する				
到達目標	ホスピタリティーの実践 基本的なフェイシャル技術の提供・機器の使用ができるようになる				
評価基準	実技試験2回 出席表の提出				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	齊藤 幸江		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして13年の実務経験を基に、基本的なフェイシャル技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業の流れ・到達目標について・挨拶・身嗜み・言葉遣い・基本動作・ベッド誘導			
2	フェイシャルマッサージ 前操作	マッサージ通し練習・ご案内-フェイシャルマッサージ-ふき取り-誘導/前操作			
3	ディーブクレンジング	酵素洗顔導入・デモンストレーション			
4		酵素洗顔流れ 通し			
5		粒子あり導入・デモンストレーション			
6		粒子なし導入・デモンストレーション			
7	フェイシャル実技試験	成績評価① 前操作・酵素洗顔			
8	フェイシャル機器①	ブラシ洗顔導入			
9		クレンジング復習・ブラシ洗顔			
10		ブラシ洗顔・マッサージ通し練習			
11	フェイシャル実技試験	成績評価② ブラシ洗顔・マッサージ			

12	フェイシャル機器②	ご案内～お返しまでの復習 超音波機器導入
13		超音波機器 通し練習
14		超音波機器・フェイシャルパック
15	フェイシャル総合	総合授業

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ヘアーテクニクⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	ヘアーテクニクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	3	90
使用教材	ー		出版社	ー	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	・美容の技術と知識を幅広い基礎知識を習得する ・シーンに合わせた技術を身に付け自信と実践力を強化する				
到達目標	ヘアアレンジ、カラーのスキルをあげる 名称を知り、髪の毛や道具の扱い方・逆毛・ビニング・アレンジスタイルの試験合格				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアーテクニクⅡ、技術理論Ⅰ、技術理論Ⅱ				
備考	ヘアアレンジ3時間／カラー3時間 原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	浅野 朝妃		実務経験	○	
実務内容	スタジオにてヘアメイクとして5年勤務をした実務経験を基に、シーンに合わせた技術と実践力を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション ブロッキング～ブロー	この授業の目的・評価基準・マナールール再確認、教材確認（名称・扱い方・管理方法） ヘアアレンジ基礎、ブロッキング、ブロー			
2	用具、道具の名称 ブロー	用具、道具の確認、ブロッキング ウェット、ドライ、ブロー			
3	ビニング、ゴム結び	ビニング、ゴム結び 小テスト			
4	ツインテール 一束結び	ツインテール～お団子 一束結び～シニョン（テスト）			
5	コテ巻き	コテの使い方、巻き方別			
6	ストレートアイロン	ストレートアイロンの使い方、バリエーション			
7	三つ編み、編み込み	三つ編み、四つ編み、フィッシュボーン 編み込み（表・裏）			
8	編み込みスタイル	三つ編みの入ったスタイル作り 編み込みスタイルのほぐし方			
9	編み込みスタイル スタイリング講座	編み込みスタイルのテスト スタイリング剤の種類と使い方			
10	ホットカーラー	ホットカーラーの巻き方			

11	ハーフアップ アレンジスタイル	ハーフアップやクウォーターアップでビニングを確認 アレンジスタイル作り
12	アレンジスタイル	アレンジスタイル作り 小テスト
13	ヘアカラー	ヘアカラーについて説明、塗り方
14	ヘアカラー	ヘアカラー練習、実践
15	ヘアカラー ヘアカラーアレンジ制作	ヘアカラー実践 ヘアカラー～アレンジ作品制作

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ヘアーテクニックⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	ヘアーテクニックⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	2	60
使用教材	—		出版社	—	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容の技術と知識を幅広く基礎知識を習得する シーンに合わせた技術を身に付け自信と実践力を強化する				
到達目標	ヘアアレンジ、カラーのスキルをあげる 名称を知り、髪の毛や道具の扱い方・逆毛・ピンニング・アレンジスタイルの試験合格				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアーテクニックⅠ、技術理論Ⅰ、技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	浅野 朝妃		実務経験	○	
実務内容	スタジオにてヘアメイクとして5年勤務をした実務経験を基に、シーンに合わせた技術と実践力を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション ヘアアレンジ	この授業の目的・評価基準・マナールール再確認、教材確認（名称・扱い方・管理方法） ヘアアレンジ（逆毛の立て方）			
2	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ（夜会巻き）			
3	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ（夜会巻きテスト） ヘアアレンジ（カールアップ）			
4	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ（カールアップ）			
5	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ（カールアップテスト） ヘアアレンジ（おくれ毛）			
6	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ（ゆるふわほぐしテクニック）			
7	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ（ゆるふわほぐしテクニックテスト）			
8	カット	ベーシックカット①、②（前髪カット）			
9	カット+スタイリング	ショートスタイル ミディアムスタイル			
10	ヘアアレンジ	ヘアデザイン制作			

11	ヘアアレンジ	ヘアデザイン制作
12	ヘアアレンジ	ヘアデザイン制作
13	カット	ベーシックカット③、④
14	カット	ベーシックカット⑤、⑥
15	総合まとめ	作品発表、振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	トータルビューティーⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	トータルビューティーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	1	30
使用教材	－		出版社	－	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日本の伝統衣装である着物の自装技術・知識を習得する		
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄え、技術の習得目安として、修了証を取得する		
評価基準	修了試験：４０％ テスト：３０％ 授業態度：３０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	小野麻紀子 他４名	実務経験	○
実務内容	ハウス・レストランウェディングでの各種着付け、広告等スチール撮影での各種着付けを担当し、17年勤務をした実務経験を基に、日本の伝統衣装である着物の自装技術・知識を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 座学 1	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明、浴衣について
2	浴衣の着方 1	男性浴衣の着方について学び実践する
3	浴衣の着方 2	女性浴衣の着方について学び実践する
4	浴衣の着方 3	女性浴衣の着方について学び実践する
5	浴衣の着方 4	浴衣（男女）の着方を仕上げる
6	座学 2	着物・TPOについて
7	着物の着方	男性着物の着方について学び実践する
8	小紋の着方 1	下着・補整・長襦袢について学び実践する
9	小紋の着方 2	小紋の着方を学び実践する
10	小紋の着方 3	お太鼓結びを学び実践する
11	小紋の着方 4	小紋にお太鼓結びを仕上げる
12	小紋の着方 5	小紋にお太鼓結びを仕上げる
13	修了試験	修了試験を実施する
14	礼装体験	礼装着物の着装を体験する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	トータルビューティーⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	トータルビューティーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	トータルビューティー国際科	1	30
使用教材	—		出版社	—	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	まつ毛エクステンションの理論、眼の周りの病気、禁忌、薬剤の使い方、装着の仕方を学び、実践できる				
到達目標	まつ毛エクステンションに関する技術の習得や知識を蓄え、技術の習得目安として、修了証を取得する				
評価基準	テスト30%、小テスト20%、提出物20%、授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	小野麻紀子 他 4 名		実務経験	○	
実務内容	ハウス・レストランウェディングでの各種着付け、広告等スチール撮影での各種着付けを担当し、17年勤務をした実務経験を基に、日本の伝統衣装である着物の自装技術・知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション、 道具確認、ワゴンセッティング	授業の流れとルール説明、道具確認とワゴンセッティング			
2	概論、用具	まつ毛エクステンションの概論と用具の説明			
3	まつ毛エクステンション 実習①	用具の消毒と手指消毒、ツイザーの持ち方、まつ毛のかき分け方			
4	衛生管理	まつ毛エクステンションおよび用具・施術環境の衛生的な管理方法について			
5	まつ毛エクステンション 実習②	グルーの取り扱いと使用方法と紙でのまつ毛エクステンションの装着			
6	保健（皮膚とまつ毛）	皮膚とまつ毛の構造と病気について			
7	まつ毛エクステンション 実習③	Jカールの装着			
8	保健（眼）	眼の構造と病気について			
9	まつ毛エクステンション 実習④	Cカールの装着			
10	テーピング、リムービングの使い方と技術	テーピングとリムービングの使用方法			
11	小テスト	復習テスト			

12	カウンセリング	お客様に対するカウンセリング、アフターケアの説明を実践する
13	まつ毛エクステンション 実習⑤	装着復習
14	前期末テスト	期末テストを実施
15	総合授業	総まとめを行う